

 評価のポイント

CL-Ⅱ. 専門的、倫理的、法的な実践能力

[1-2] 小児看護における倫理的課題の「気づき（顕在化）」と「根拠の説明」

① 日常的な看護実践の場で、“モヤモヤ”を感じる事例もしくは場面を3つあげてみましょう

- 看護実践の場で“モヤモヤ”することには、
そこに何か**必ず存在している**
- “モヤモヤ”する先には倫理的課題があります
 - ⇒①**倫理的課題はわかっているが、他の要因等で対応できない時**
 - ⇒②**倫理原則の衝突**などによる倫理的ジレンマ
 - ⇒③原則や価値の衝突とともに**結果が不確か**であることによる倫理的ジレンマ

“モヤモヤ”する時にはその先に何か必ず生じているため、こどもの権利擁護、倫理原則の観点も含め日常のケアを振り返る。倫理的に気づくことは、これまで当たり前のものでして習慣的に行ってきたことも見直すことでもある。

② 3つあげた事例・場面の先にある「倫理的課題」について、講義で示した①②で参考に説明してみましょう

①倫理的課題はわかっているが、他の要因等で対応できない時、②倫理原則の衝突などによる倫理的ジレンマがある。